

第3回 審判協会便り

《指名打者制度（DH）の規定について》

（指名打者制度の目的として）

チーム内の活性化と試合出場の機会が少ない選手を救済するため

（試合開始から試合終了まで人数を変更しない事）

試合開始より9人攻撃なら9人で、10人攻撃なら10人で試合終了まで変更しない事（メンバー交換時に審判、両チーム監督が確認する）

但し、DHを採用したら9人攻撃、10人攻撃を相手チームに伝える事

（指名打者の選択）

指名打者（DH制）は採用、不採用の選択が出来ます。

DH制を採用すれば試合開始から終了まで10人で試合に参加する事

但し、攻撃は9人でも10人でもOKです。投手、野手に限定しませんが

1人は打撃のみのDHとなります（守備のみも可）

尚、投手から野手へも代われます。（守備位置の変更のみも可です）

当然、交代すればベンチへ退いた選手の打順へ出場選手が入ります

（負傷等でプレイ続行不能の場合）

ベンチ内10名の場合で指名打者を入れた試合中に負傷者等が出た場合には、審判員が認めた場合に限り9名にて試合続行可能とする

（打順は負傷者等を除いて繰り上げた9人攻撃となる）

※不明な場合は該当の審判員へご確認をお願い致します。